

## 平成29年度第2回志木市社会教育委員会議録

平成29年8月8日(火)  
午後1時30分～2時20分  
4階 全員協議会室

出席者 委員：齊藤奈都子、竹前榮二、宮原正幸、有馬隆江、一ノ倉達也、小笠原  
順子、安部卯内、星野久江、市之瀬初男、名児耶一子、稲垣真紀、  
(順不同、敬称略)  
市：生涯学習課(小日向課長、浅見主査、武井主査)

- 1 開 会 浅見主査
- 2 あいさつ 齊藤奈都子議長  
小日向課長
- 3 協議事項

### (1) 志木市生涯学習指針(文化振興の推進)について

事務局より説明

志木市生涯学習推進指針の生涯学習施策の体系の4文化を育む活動の支援(1)伝統文化の次世代への継承、(2)芸能・芸術活動の支援について、今後、高齢化が進み、伝統芸能や文化活動に取り組む方たちの減少を食い止めるためにはどのようなしたらよいかなど、率直なご意見やご助言ををいただきたい。

(委員)文化体験道場は、何年目か。

(事務局)4年目

(委員)文化祭の人数は何割くらい減少しているか。

(事務局)2割くらい減っている。

(委員)人口比だともっと減ってることになる。

(委員)会社や事業所への働きかけはしているか。

(事務局)していない。公民館へは、公民館利用者へちらしを配布している。

(委員)事業所でもクラブ活動があると思うのではたらきかけてはどうか。

(委員)文化協会加入者は多いと思うが。

(事務局)高齢者が多く、新しく加入する団体が少ない

(委員)昨年と今年での比較はどうか。

(事務局)昨年よりも減っている。現在集計中である。

(委員) 市内の学校で華道や茶道を行っているが小中高への働きかけは。小中高でも参加できるしくみをつくってはどうか。

(委員) 志木三小は和室があるので、茶道は行っているかもしれない。

(委員) 志木小も6年前は、6年生対象の陶芸の文化体験があった。志木小学校の作品を出品してもらえばどうか。

(委員) 学校に声をかけて参加してもらったらどうか

(事務局) 絵画、陶芸等は、文化祭と同日開催している志木市美術展覧会になるが、出品資格が、高校生以上である。毎年、市内の高校へは、出展のお願いをしているが、学校行事や他の作品展が忙しく、まだ、出展された作品はない。小中校生は、文化祭の対象となるが、取りまとめる学校との調整が必要である。

(委員) 小学生は、出展できないのか。

(事務局) 美術展覧会は、高校生以上である。文化祭は年齢は関係ない。小学生の陶芸作品は文化祭で出展することができる。

(委員) 小学生の入選作品を出してもらえばよいのでは。

(事務局) 担当課と協議して検討する。

(委員) 文化体験道場の発表会はあるのか。

(事務局) 行っている。種目にもよるが、文化祭に出演したり、民謡流しや盆踊りに参加している。

(委員) 組織も硬直化しているのではないか。若い人が入ってこられない。もっとしくみを考えられないか。

(委員) どの団体も高齢化が進んでいる。

(委員) 10月にいろは遊学館祭りがあり、同じ作品を文化祭では出せない為、11月の文化祭には参加しない団体が多い。

(委員) 郷土芸能フェスティバルで、昨年参加団体がすごく減ったので、ヒップホップの団体に参加してもらったが、とても観客が多くなり良かった。ヒップホップは郷土芸能ではないという意見もあるが、30年、40年たてば郷土芸能になる。

(委員) ダンスの時間は学校にもある。

(委員) お母さんも一緒に踊っている人もいる。

(委員) ダンスは子どもたちにも人気である。

(委員) 華道や茶道だけでなく他の出し物を考えてみてはどうか。

(事務局) 委員の皆様の意見を参考に進めていく。

(2) あいさつ標語(しおり)の活用について  
事務局説明

前回の会議で委員の皆様から頂いたご意見を参考に、市内の各図書室へ配布した。

(3) その他

① 図書館協議会委員の選出

事務局説明

現在の委員は有馬委員をお願いしているが、3期つとめているので、他の委員より選出したい。

(委員) 竹前委員がよいのではないかと  
竹前委員了承。

② 関東甲信越静岡社会教育研究大会静岡大会について  
事務局説明

8月末に出欠確認の通知を発送する。

4 その他（事務局より連絡）

- ・ 人権研修会のご案内
- ・ 成人式実行委員の募集案内

5 閉 会 竹前副議長